

## “音楽”と“スポーツ”と“アート”による震災復興支援 『明日へのエール』

- 3月2日(水)～15日(火): 新宿高島屋 2階ウエルカムゾーン・1階明治通り口特設会場
- 3月9日(水)～15日(火): 日本橋高島屋 1階正面ホール・イベントスペース

主催:株式会社高島屋

協賛:ピアノショップいわき、ラジオ福島、NPO法人さくら並木ネットワーク、東北コットンプロジェクト

**奇跡のピアノ(福島県いわき市)展示とチャリティーコンサートを連日開催**  
**被災地(宮城県)出身の芸術家(現代美術)・青野文昭氏の巨大アート展示**  
**NPO法人さくら並木ネットワークの活動紹介と募金受付**  
**スポーツ界で活躍中の著名人によるチャリティートークショー**  
**東北コットンプロジェクトの活動紹介と商品販売**

株式会社高島屋は、3月2日(水)～3月15日(火)まで、新宿高島屋、日本橋高島屋を中心に、“音楽”と“スポーツ”と“アート”の力で、東日本大震災の復興を支援するイベント、『明日へのエール』を開催いたします。

東日本大震災発生から5年となる節目に、高島屋ならではの支援の形として、津波の被害に遇いながらも、その命を吹き返した“奇跡のピアノ”を展示するほか、被災地支援に取り組むアーティストの方々を迎えたチャリティーコンサート、被災地出身の芸術家による巨大アート展示、スポーツ界で活躍中の著名人によるチャリティートークショー、東北で綿を生産し製品化する東北コットンプロジェクトの活動紹介と商品販売など、様々なプログラムを展開いたします。また、期間中は会場内に募金箱を設置。お預かりした募金は、NPO さくら並木ネットワークに全額寄付させて頂く予定です。

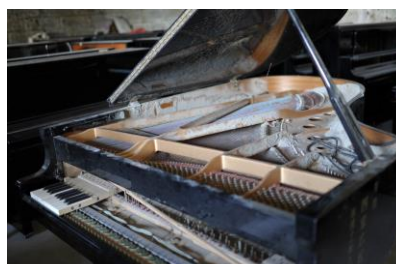
### 1. 復興支援に取り組むアーティストの「奇跡のピアノ」コンサートを開催(日本橋店・新宿店)

“奇跡のピアノ”は、震災のあった当日、福島県いわき市豊間中学校の卒業式で演奏された後、津波の被害に遇ったグランドピアノです。同市内在住のピアノ調律師・遠藤洋氏の懸命な修復作業により、その命を吹き返し大きな話題となりました。

そのグランドピアノを会場に展示するとともに、東北地方にゆかりのある、また、震災復興活動に前向きに取り組むアーティストが出演するチャリティーコンサートを連日開催します。



被災した豊間中とピアノ(2011年4月)



津波の被害に遭った修復前のピアノ(2011年4月)



修復作業に取り組む遠藤さん(2011年9月)

## 2. 被災地出身の芸術家・青野文昭氏の作品展示と 福島県富岡町・夜ノ森の桜の映像紹介(日本橋店)

第26回タカシマヤ文化基金受賞者であり、被災地・宮城県出身で、現在も現地で制作活動を行っている青野文昭氏のアート作品を正面ホールステージに展示します。

正面ステージでは原発事故で全町非難が続く福島県富岡町の桜の名所「夜ノ森の桜」の映像を、大型スクリーン(70 インチタテ×3 枚)でご覧頂きます。

また、再生への願いを込めて、今も、全国各地で避難生活を余儀なくされている東北各地の方々へ贈るエールの意味を込めて、本物の桜の木を装飾に用い、見事な桜の花をご覧頂きます。

■同時開催:「桜語り～東日本大震災の被災地から 村山嘉昭写真展」



## 3. NPO 法人さくら並木ネットワークの活動紹介と募金受付(日本橋店ほか各店)

NPO 法人さくら並木ネットワークの活動紹介と募金を受け付けます。

2011年3月11日、東日本大震災の影響による大津波が美しい東北の地に甚大な被害をもたらしました。100年に1度は必ず東日本一帯にやってくる地震と大津波。世代を超え代々語り継ぎ、いのちを守りたい。100年後にTSUNAMIを伝えるために



そこで、大津波の到達地に、桜を植樹したいという東北の方々の強い想いと、花に携わる有志によって「さくら並木プロジェクト」が立ち上がりました。将来予測される大津波の際「避難」の目標となって、住民の方々を守る役割を果たしてくれることを願い、今回の津波到達最終地点に桜を植え記憶に残る桜並木を造成する活動を行っています。

■募金受付: 日本橋店・横浜店・新宿店・玉川店・立川店・柏店・大宮店・高崎店

■寄付先 : NPO法人さくら並木ネットワーク

## 4. スポーツ界で活躍中の著名人によるチャリティートークショー開催(日本橋店ほか各店)

野球、サッカー、ラグビーなどスポーツ界で活躍した元選手が、チャリティーでトークショーを行います。

## 5. 東北コットンプロジェクトの活動紹介と商品販売(日本橋店)

東北コットンプロジェクトの活動紹介と、現地で生産された「綿」を使用した商品の販売を行います。

このプロジェクトは、東日本大震災被災地の農業生産組合・農業法人とアパレル関連企業等が共同で、東日本大震災からの復興を目指し「農業再生」「雇用創出」「新産業」を目的に被災農地にて綿(コットン)の生産を行うプロジェクトです。2011年7月発足。被災地の農業生産者が綿を栽培し、アパレル関連企業が紡績・商品化・販売を行うことで復興を支援。原料である綿の栽培から綿製品の販売までの一連の工程をプロジェクト参加各社が「東北コットンプロジェクト」ブランドで統一して展開。高島屋は発足当初からこのプロジェクトに参画しています。

■同時開催:「東北コットンプロジェクト 中野幸英写真展『give and take』」





## ■プログラム詳細

<p><b>ピアノ展示</b> 新宿店 3月2日(水) ～8日(火)</p> <p><b>日本橋店</b> 3月9日(水) ～15日(火)</p> <p><b>トークショー</b> 新宿店 3月2日(水) 16:00 3月5日(土) 14:00・16:00</p> <p><b>日本橋店</b> 3月9日(水) ～13日(日) 14:00・16:00</p>	<p><b>「奇跡のピアノ」を修復した ピアノ調律師・遠藤洋(えんどう・ひろし)氏 トークショー</b></p> <p><u>&lt;会期中展示&gt;</u> <b>津波の被害に遭っても奇跡的に命を吹き返したグランドピアノの展示</b></p> <p>“奇跡のピアノ”は、震災のあった当日、福島県いわき市豊間中学校の卒業式で演奏された後、津波の被害に遇ったグランドピアノです。同市内在住のピアノ調律師・遠藤洋氏の懸命な修復作業により、その命を吹き返し大きな話題となりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p><b>アート展示</b> 日本橋店 3月9日(水) ～15日(火)</p> <p><b>トークショー</b> 日本橋店 3月9日(水) 11:00</p>	<p><b>第26回タカシマヤ文化基金受賞</b> <b>芸術家(現代美術)・青野文昭(あおの・ふみあき)氏 巨大アート展示とトークショー</b></p> <p>1968年宮城県仙台市に生まれる。1992年国立大学法人宮城教育大学大学院美術教育科終了、1999年宮城県芸術選奨・新人賞(洋画)、2005年宮城県芸術選奨(彫刻)、2013年ヴァーモントスタジオセンターフェローシップ・滞在制作(Vermont Studio Center Fellowships for Artists and Writers アメリカ・VSC)。</p> <p>第26回タカシマヤ文化基金受賞。</p> 
<p><b>写真展</b> 新宿店 3月2日(水) ～15日(火)</p> <p><b>日本橋店</b> 3月9日(水) ～15日(火)</p> <p><b>トークショー</b> 新宿店 3月5日(土) 11:00</p>	<p><b>被災地東北の今を撮影し続けるカメラマン</b> <b>村山嘉昭(むらやま・よしあき)氏 写真展とトークショー</b></p> <p>1971年、神奈川県横浜市生まれ。フリーランスカメラマン兼取材者。東京都在住。農業系出版社の写真部勤務を経て、2005年に独立。人と自然のかかわりをテーマに取材や撮影を行い、震災以降は東北通いを続けている。2000年からライフワークで撮り続けている「川ガキ(水辺を遊び場とする子どものこと)」の移動写真展を主宰。これまで東京都葛西臨海水族園やアクアマリンふくしま、郡上八幡や四万十市、東京ミッドタウン他で写真展を開催。</p> 

<p><b>コンサート</b> 新宿店 3月2日(水) 14:00・16:00</p> <p><b>日本橋店</b> 3月10日(木) 13:30・15:40</p>	<p><u>福島で震災に遭い、復興に向けて歩む沖縄出身シンガー</u> <b>普天間かおり(ふてんま・かおり)/歌</b></p> <p>雄大にして繊細な歌唱力で、自身のルーツとなる沖縄音楽に独自の解釈を加え歌い継ぐスタイルや、平和や家族などに視点をおいて人を見つめる温かな楽曲の世界観が支持されている。ラジオ福島「かっとびワイド～けんじとかおりのふれんどラジオ」のパーソナリティーとしても活躍。同番組の生放送中に震災に遭う。その後、「Smile Again 0311」支援プロジェクトを立ち上げ、音楽の枠を超え様々な分野の方々とのつながりを持ちながら、その支援の輪を広げている。</p> 
<p><b>コンサート</b> 新宿店 3月5日(土) 14:00・16:00</p>	<p><u>第45回日本有線大賞・新人賞、第54回輝く！日本レコード大賞「新人賞」受賞</u> <u>岩手県大槌町出身の小さなシンガー</u> <b>臼澤みさき(うすざわ・みさき)/歌</b></p> <p>1998年生まれ。小学3年のときから習い始めた民謡が彼女に新しい世界を開いた。</p> <p>2011年3月11日、東日本大震災によって、大槌町を含む岩手県の沿岸地域は大きな被害を受けた。それからずっと、被災地の様子が報道され続けた。被害の実態、困難から立ち上がろうとする人々の声、支援する人々の活動。彼女自身、避難所生活を送る人たちのために歌による慰問活動をしていて、テレビの取材を受けたことも。そうしたさまざまな報道の中、民謡を歌う女の子として、その姿が関東地区のテレビ番組で放送され、その画面がきっかけで、2012年7月25日、テイチクからCDデビュー。国内外からたくさんの支援を受けたことに対する感謝を忘れず、歌うことでお返しがしたいと考えている。</p> 
<p><b>コンサート</b> 日本橋店 3月9日(水) 14:00・16:00</p>	<p><u>“奇跡の一本松”から生まれた楽器「コカリナ」</u> <b>黒坂黒太郎(くろさか・くろたろう)/コカリナ演奏</b></p> <p>木のオカリナ「コカリナ」の第一人者。コカリナ奏者として、日本のみならず、ウイーン楽友協会黄金のホールで定期的に演奏会を開催するなど、幅広く活躍している。</p> <p>東日本大震災後は、「東日本大震災被災地支援コカリナ&amp;音楽プロジェクト」を立ち上げ、復興支援コンサートを全国で開催している。2014年2月には第100回目のコンサートを長野県上田市で開催。集められた支援金は、被災した木をコカリナにし、ゆかりのある子ども達にプレゼントするなど、(石巻の被災松コカリナでは約300本、陸前高田の被災松では陸前高田市の全小学生等へ約1200本をプレゼント。)子ども達の支援のために使われている。また、陸前高田市の「奇跡の一本松」からコカリナを製作し演奏。2013年12月に開催された「奇跡の一本松コカリナコンサート」には皇后陛下もご来場された。支援活動の中で誕生した被災松コカリナを使用したCD「希望のコカリナ～石巻アカマツの奇蹟～」 「REBORN～高田松原の調べ～」 「～“奇跡の一本松”が奏でる～ 星めぐりの歌」がキングレコードよりリリースされている。</p> 

<p><b>コンサート</b> 日本橋店 3月11日(金) 14:00・16:00</p>	<p><u>東日本大震災の復興支援プロジェクト「スマイルピアノ 500」を推進するピアニスト</u> <b>西村由紀江(にしむら・ゆきえ)/ピアノ演奏</b></p> <p>幼少より音楽の才能を認められ、ヨーロッパ、アメリカ、東南アジア諸国への演奏旅行に参加し、絶賛を博す。桐朋学園大学ピアノ科に入学と同時にデビュー。年間60本を超えるコンサートで、全国各地を訪れる傍ら、ライフワークとして「学校コンサート」や「病院コンサート」を行っている。</p> <p>今までに30枚を超えるアルバムをリリースする制作活動の他、近年ではNHKテレビ「趣味悠々・西村由紀江のやさしいピアノレッスン」にピアノ講師として出演し、ピアノの楽しさ、音楽の魅力を、わかりやすく広めたことでも注目を集めた。代表作は、ドラマ「101 回目のプロポーズ」、映画「子ぎつねヘレン」、NHK「アーカイブス」など。</p> <p>東日本大震災の復興支援プロジェクトとして「スマイルピアノ 500」を同時に立ちあげた。</p> 
<p><b>コンサート</b> 日本橋店 3月12日(土) 14:00・16:00</p>	<p><u>NHK「にっぽん紀行」や E テレ「こころの時代」のテーマ音楽でも知られるピアニスト</u> <b>Wong WingTsan(ウオン・ウインツァン)/ピアノ演奏</b></p> <p>NHK「にっぽん紀行」や E テレ「こころの時代」のテーマ音楽でも知られるピアニスト、作曲家。1949年神戸にて、香港出身の父、日本と中国のハーフの母との間に生まれ、東京で育ちました。19歳からプロ演奏家として活動する中で、38歳の頃、瞑想の体験を通して、即興演奏を中心とするピアノソロ・スタイルが生まれました。サトワミュージックを設立し「フレグランス」「Doh Yoh」「光の華」「青の龍」など30作近くのアルバムをコンスタントに発表してきました。コンサートでは、音の力でオーディエンスの深い意識とつながり、静寂な音空間を創りだします。超越意識で奏でる透明な癒しの音色で“瞑想のピアニスト”とも呼ばれています。「明日へのエール」では、祈りをこめて「奇跡のピアノ」を演奏します。</p> 
<p><b>コンサート</b> 日本橋店 3月13日(日) 14:00・16:00</p>	<p><u>福島県出身シンガー。ふるさとを思い、震災直後に楽曲を制作、支援活動に取り組む</u> <b>Yammy(ヤミー)/歌</b></p> <p>福島県白河市出身。大学法学部を休学し単身渡米し、ロサンゼルス音楽学校 Musicians Institute で本格的にヴォーカルトレーニングを受ける。2011年、ふるさとを思って震災直後に書き上げた「君のもとへ」が、2012～2013年ラジオ福島「ラジオチャリティーミュージックソン」のイメージソングに2年連続で起用され、その後、ふるさとでの復興支援活動に積極的に取り組んでいる。</p> 



<p><b>コンサート</b> 日本橋店 3月14日(月) ～15日(火) 14:00・16:00</p>	<p><b>篠原聖華(しのはら・きよか)/ピアノ演奏</b> 1996年福島県双葉郡浪江町に生まれる。浪江中学校2年を終えようという時に被災し、原子力災害により埼玉県に避難。埼玉県避難後、永瀬まゆみ氏、永瀬礼佳氏、泉ひろこ氏、全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)、被災者へピアノを贈る会など多数の方のご支援を頂き、ピアノを継続し、山田恭子氏の指導を受ける。同じく被災者である指導者・講師の添田みつえ氏、星美南子氏にも2011年夏より臨時レッスンを再開していただく。現在は東京音楽大学にて、音楽の知識を学びながら、菊地裕介氏の下、ピアニストを目指す。</p>  <p><b>遠藤優衣(えんどう・ゆい)/フルート演奏</b> 1996年福島県いわき市出身。4歳よりピアノを始め、中学、高校共に吹奏楽部でフルートを担当する。中学2年の3月に東日本大震災に遭い、避難生活が始まる。高校は、福島県立湯本高等学校に入学し、仮設の校舎で授業を行う。吹奏楽コンクールでは3年連続全国大会に出場。現在、昭和音楽大学器楽学科弦・管・打楽器コースフルート専攻1年次在学中。丸田悠太氏に師事。</p> 										
<p><b>トークショー</b> 日本橋店 3月13日(日) 11:00</p>	<p><b>東北コットンプロジェクトを撮影し続けるカメラマン 中野幸英(なかの・ゆきひで)氏 写真展とトークショー</b> 1978年神奈川県川崎出身。写真プロダクションを退社後、製作活動・撮影業務を開始。日本広告写真家協会正会員。東日本震災後にap bankの石巻災害ボランティアにサポート役として参加。同時期に東北コットンプロジェクトに唯一個人で参加。現地撮影を無償で行い、作品制作を続ける一方で写真を参加企業などに提供している。「東北コットンプロジェクト 綿と東北と私たちと」(2014 共著 文・宮川真紀 タバックス刊)。</p> 										
<p><b>トークショー</b> 3月9日(水) 3月10日(木) 3月11日(金)</p>	<p><b>スポーツ界の著名人によるチャリティートークショー</b></p> <table border="0"> <tr> <td>13:00(新宿店)</td> <td>中畑清</td> </tr> <tr> <td>11:00(横浜店)・15:00(玉川店)</td> <td>斎藤隆</td> </tr> <tr> <td>11:00(柏店)・15:00(大宮店)</td> <td>セルジオ越後</td> </tr> <tr> <td>11:00(日本橋店)・15:00(立川店)</td> <td>松尾雄治 →(右写真)</td> </tr> <tr> <td>13:00(高崎店)</td> <td>山崎武司</td> </tr> </table> 	13:00(新宿店)	中畑清	11:00(横浜店)・15:00(玉川店)	斎藤隆	11:00(柏店)・15:00(大宮店)	セルジオ越後	11:00(日本橋店)・15:00(立川店)	松尾雄治 →(右写真)	13:00(高崎店)	山崎武司
13:00(新宿店)	中畑清										
11:00(横浜店)・15:00(玉川店)	斎藤隆										
11:00(柏店)・15:00(大宮店)	セルジオ越後										
11:00(日本橋店)・15:00(立川店)	松尾雄治 →(右写真)										
13:00(高崎店)	山崎武司										